

ひとは何のために生きるのか？

マグカルシアター参加作品

劇団遊戯

国境の花屋

BORDER FLOWER SHOP

作 キム・ギョンジュ

演出 ペ・ミハン

2025年7月4日(金)～6日(日)

— 神奈川県立青少年センター内
スタジオ HIKARI (桜木町駅 徒歩5分)



干からびたレテの川を渡り、国境を越えれば新しい世界がある—。

難民たちは命からがら、唯一の希望を託して国境にある花屋へと辿り着いた。そこで花を手に入れば川を渡れるという。しかしそこには、さまざまな危険や葛藤、そして誘惑が渦巻いていた。

ひとは何のために生きるのか？ 鬼才 キム・ギョンジュが劇団遊戯のために書き下ろした、ギリシア神話をベースに現代を鋭く抉った戯曲。もちろん世界初の上演です。どうぞお見逃しなく！

マダカルシアター参加作品

劇団遊戯 国境の花屋

BORDER FLOWER SHOP



わたなべひろみ



栗山永悟
(オフィス八田)



桑垣紀彦



吉中志帆
(MUVRINOIE)



高平ひかる



吉直潤太



伊藤哲哉



鹿又隆志



横山天音



松田志津子



作 キム・ギョンジュ 金経株

1976年 光州生まれ。詩人・劇作家。韓国詩壇「現代詩を率いる若き詩人」選定。自身の flying airport スタジオで詩劇実験運動を行い、作品はアメリカ、フランス、メキシコなど海外でも広く上演されている。邦訳戯曲集に『オオカミは目玉から育つ』（論創社）。



演出 ペ・ミヒャン 배미향

劇団遊戯主宰。演出家、俳優。幼少期より韓国舞踊を学び釜山大芸術大学舞踊学科を卒業。1986年「演劇団コリベ (연희단거리패 Street Theatre Troupe)」(イ・ユンテグ主宰) 創立メンバーとなり、劇団員が共同生活を行う環境の中、長きにわたって主力女優として活躍。1990年代より日本でも積極的に活動し、主に「新宿梁山泊」「身体の景色」などの舞台に出演。2012年に多目的スペース 日暮里 ART CAFE 百舌を立ち上げ、2013年に劇団遊戯 創設。劇団公演の演出と日本人俳優の育成に動じる。

会場 神奈川県立青少年センター内 スタジオHIKARI

開演日時 7/4 (金) 19:30
7/5 (土) 14:00 18:30
7/6 (日) 14:00

※開場は 30 分前です

チケット 3500円
高校生以下 1000円 (身分証提示要)
ともに税込み

予約サイト <https://trkr.jp/ticket?p=hanaya>



音楽 松田 幹
照明 川村孝志
舞台監督 桑垣紀彦
舞台装置 ペ・ミヒャン、松田志津子
美術・衣装 堀切リエ
日本・制作 森野菜月
脚本・協力 チョ・ヒョジョン、イ・ジェヤ
翻訳 作家 国際交流韓国企画プロデュース
翻訳監修 イ・ヨンソ
宣伝デザイン うさぎ一号グラフィックス
チラシ 佐久間正晃
協力 渡辺冬子
問合せ gekidanyuugi@gmail.com

主催 神奈川県 劇団遊戯



この公演は、神奈川県マダカル展開促進補助金の助成を受けて実施しています。

神奈川文化プログラム



神奈川県立青少年センター
スタジオHIKARI